関東高等学校空手道大会　新型コロナウィルス感染症予防対策ガイドライン

第５０回関東高等学校空手道大会実行委員会

１　全般的なことについて

（１）　今大会は、感染症対策を施した大会運営を基本とし、無観客で実施します。

（２）　大会会場には、登録した選手、登録した監督、登録したコーチ、引率顧問のみ入場できます。

ただし、個人組手１名のみの学校については練習相手１名の入館を認めます。

参加者は「ＩＤカード」を携帯して下さい。監督または引率顧問の方は、１１日の公式練習の時に受付を済ませて

ください。そのときに「ＩＤカード」をお渡します。

（３）　会場内では，ソーシャルディスタンスを保つこと。試合時を除き、常にマスクを着用してください。

（４）　大会を通じて大きな声で会話をしない。

（５）　大会を通じて、握手、ハイタッチ、ハグなどは行わない。

（６）　会場入口にアルコールを用意しますので、手指の消毒をして入館してください。

２　健康管理について

　　（１）　参加者は大会に週間前から健康チェックおよび体温測定を行い、体調管理に留意して下さい。「健康チェッ

クシート」記載の「大会当日の健康状態」および「大会２週間前からの健康状態」に✔がない場合は入館でき

ません。

　　（２）　体温は大会期間中の毎日朝夕に必ず測定して下さい。

　　（３）　入館時の検温で、平熱を超える発熱（37.5℃以上）がある場合は、５分おいて再測定し、それでも発熱があ

る場合は接触型の体温計で測定し、それでも超える場合は入館出来ません。→１１へ

　　（４）　参加者は「健康チェックシート」を各日必ず提出して下さい。提出がない場合、選手の保護者印がない場合

は入館できません。宿泊を伴う場合、選手の保護者印については、あらかじめ押印しておいて下さい。

（５）　大会期間中、発熱など体調に異変があった参加者は速やかに監督または引率顧問に報告し、その指示に

従って下さい。監督または引率顧問は大会本部に報告して下さい。なお、新型コロナウィルスの感染が疑わ

れる場合は速やかに医療機関に受診して下さい。緊急を要する場合は救急搬送して下さい。

３　開会式、閉会式について

　　（１）　開会式、閉会式は実施しません。各種目の終了後に第３位までの表彰式を実施します。それ以外の入賞

者は放送で連絡しますので、賞状を本部まで取りに来て下さい。

４　諸会議について

　　（１）　マスク着用等感染症対策の上、短時間で実施します。

５　競技について

　　（１）　試合場への入退場時はマスクを着用すること。

　　（２）　形競技においては、競技中の形名の呼称、気合い発声を可とする。

　　（３）　組手競技においては、メンホーにマスウシールドを必ず装着する。ミズノ製を推奨する。その上で、競技中

の気合いは可とする。

　　（４）　競技の前後に腰掛けたイスは退場前に必ず消毒する。

　　（５）　競技のためマスクを外した場合、マスクを床やイスの上に直接置かずに、マスクケース等を利用するなどし

　　　　て衛生に気をつける。

　　（６）　応援は拍手のみで行う。

　　（７）　各コートに消毒用のアルコールを用意するので、競技の前後に各自消毒を行う。

　　（８）　安全具や帯の共有を禁止する。

６　練習会場について

　　（１）　手指消毒用のアルコールを用意するので、練習の前後に消毒をする。

　　（２）　練習会場では飲食は禁止する。

　　（３）　練習時はマスク、メンホーを必ず着用する。

　　（４）　練習会場内での私語は控える。

　　（５）　練習時間は種目等によって決まっているので、使用時間を守ること。（試合の進行によっては使用時間が

変更になることがある。）

７　更衣室について

　　（１）　密にならないように利用する。

　　（２）　更衣室内もソーシャルディスタンスを確保する。

　　（３）　ロッカーおよびシャワーの利用は禁止する。

　　（４）　飲食は禁止する。着替えのみに利用すること。

８　審判について

　　（１）　フェイスシールド、マスクを必ず着用する。

　　（２）　整列する際に間隔を１メートル以上空ける。

　　（３）　監査は笛を使わず、電子ホイッスルを使うこと。

９　ゴミ処理について

飛沫感染のリスクを低減させるため、マスク等、個人で持参したものについては必ず持ち帰る。

１０　メディア対応

（１） 取材メディア受け入れ条件

原則として試合当日に試合会場での取材活動を受け入れる方針とし、但し感染防止対策としての以下の条件

に承諾し、実行委員会へ取材申請を提出、受理されることが条件となる。

〇以下の場合は来場を見合わせる

（1）体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛・味覚や嗅覚異常などの症状がある場合）

（２）同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

（３）過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は

当該在住者との濃厚接触がある場合

〇マスクを持参し着用する。

〇健康観察カードを試合当日に作成し、来場時に報道受付に提出する。

〇開催会場及び主催者が定めた措置を順守し、従う。

〇受付後は必ず、ビブスを着用する。

（２）　選手への取材方法

取材対応はメディア関係者との接触、または感染リスクがない手段にて実施する。

移動中等の囲み取材は厳禁とする。試合前。試合中の選手、顧問への取材は認めない

１１　大会の参加が認められない場合

（１）　チームの関係者（選手・監督・引率顧問・コーチ）に新型コロナウィルスの感染が判明し、保健所の判断

が確定していない場合。

（２）　チームの関係者（選手・監督・引率顧問・コーチ）に濃厚接触者がおり、検査等が実施されていない場合や

検査が実施されていても結果が確定していない場合

　　※　上記①②のいずれの場合も、保健所の判断を仰ぎます。

１２　大会当日の発熱や疑いがある場合の対応

（１）　体調不良、または平熱を超える発熱がある場合

速やかに顧問が必ず実行委員会に連絡するとともに、学校長に連絡し、大会出場の有無を協議する。

（２）　体調不良、または平熱を超える発熱がある者が２名以上いる場合

　　　該当校の関係選手の出場を停止する。